

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和5年6月21日
北海道開発局

「サイクルート北海道フォトコンテスト2023」開催！

～北海道内のサイクルートを巡り写真を投稿しよう～

北海道サイクルート連携協議会（事務局：北海道開発局・北海道）※¹では、魅力的な北海道の観光資源を活かしたサイクルーツーリズムを推進するため、北海道内9つのサイクルートを舞台とした「サイクルート北海道フォトコンテスト2023」を実施します。

※詳細につきましては、別紙1をご参照ください。

記

実施期間：令和5年7月1日（土）～令和5年9月30日（土）

参加方法：

【Instagramアカウント】

- ① ルート協議会※²の9つのサイクルート（別紙2）のいずれかの沿線で「自転車をテーマにした写真」を撮影（自転車が写真に写っていること）
- ② Instagram「サイクルート北海道フォトコンテスト2023」をフォロー
- ③ ハッシュタグ&写真のコメントをつけて①を投稿



なお、ご応募いただいた作品の中から「サイクルート北海道50選」を選出し、ポスターやリーフレット、HPやサイクルマップの素材として活用させていただく予定です。

【ハッシュタグ】

- ・フォトコンハッシュタグ：#フォトコン応募、#サイクルート北海道
※上記2つのハッシュタグをつけてください。
- ・ルートハッシュタグ：#きた北海道、#石狩川、#阿寒摩周釧路、#トカプチ400、
#富良野美瑛、#オホーツク、#石狩増毛、#羊蹄ニセコ、#オロロン
※上記から撮影したルートのハッシュタグをつけてください。

※1※2：北海道サイクルート連携協議会、ルート協議会については以下のホームページを参照ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ky/dou_kei/splaat000000utuk.html

【問合せ先】<北海道サイクルート連携協議会に関するお問い合わせ>

国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311
建設部 道路計画課 道路調査専門官 伊藤 典弘（内線 5845）
建設部 道路計画課 企画第2係長 水野 亮介（内線 5368）



北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



サイクルート北海道 フォトコンテスト 2023

2023年

7月1日(土) ~ 9月30日(土)

★ 北海道内9つのサイクルートを巡りながら、
写真を撮影・投稿しよう！

Step1 サイクルート北海道 HP やサイクルマップを参考としながら
掲載されている観光、景観スポットなど各ルートの様々
な場所をめぐり「自転車をテーマにした写真」を撮影

Step2 Instagram「サイクルート北海道フォト
コンテスト 2023」をフォロー

↓アカウントはこちら



Step3 以下①②のハッシュタグ & 写真のコメント & アカウントの
タグ付けをして Step1 を投稿

①ハッシュタグ「#フォトコン応募」
「#サイクルート北海道」
※上記2つのハッシュタグをつけてください。

②撮影したルートのハッシュタグ
#きた北海道、#石狩川、#阿寒摩周釧路、
#トカプチ 400、#富良野美瑛、#オホーツク、
#石狩増毛、#羊蹄ニセコ、#オロロン
※上記から撮影したルートのハッシュタグをつけてください。

※可能であれば、海外向けPRのため
「#hokkaido」「#cycling」「#cyclinglife」
をつけて投稿してください。(任意)



★ サイクルルートについて

北海道内の9つのサイクルルートは、
ポータルサイト「サイクルート北海道」にて紹介しています。



サイクルート北海道

<https://cycle-hokkaido.jp/routelist>

★ 応募作品について

応募頂いた作品の中から「サイクルート北海道50選」を
選出いたします。選出された入賞作品はポスターやリーフレット、
HP やサイクルマップの素材として広く活用させていただきます。
また、投稿いただいた写真は随時サイクルート北海道 HP に
表示されます。



主催：北海道サイクルルート連携協議会

問い合わせ(E-mail) : hokkaidocycle@docon.jp

<応募要件>

- ・ルート協議会の9ルートいずれかの沿線であること(サイクルート北海道HPを参照)
- ・自転車が写真に写っていること
- ・撮影日が応募期間内であること
- ・北海道らしい景観、北海道らしい道、サイクリングで発見したおいしい食べ物、笑顔など、「自転車をテーマにした写真」であること
- ・投稿するInstagramのアカウントが公開とされていること(複数応募可)
- ※可能であれば、位置情報を登録してください。(任意)
- ※Instagram上のリンクよりアンケートにご協力ください。(任意)

<応募に際する注意事項>

- ・法令・公序良俗に反するもの(車道での逆走、公道での並走、畑や牧草地など私有地へ立ち入ること等)、第三者の著作権、肖像権その他の権利を侵害するものはご応募いただけません。
- ・サイクリングの際はヘルメットを着用することが努力義務とされています。
- ・応募者は、北海道サイクルルート連携協議会がPR活動のため、応募された写真を無償で公表、複製、発表、公衆送信、展示、印刷することを許諾するものとします。



cycle tourism in Hokkaido

北海道のサイクルツーリズム推進に向けた取り組み

9つのモデルルートをご紹介します！



北海道サイクルルート連携協議会 <https://cycle-hokkaido.jp/>

1 **きた北海道ルート**
 ルート全長：372km / 獲得標高：2,313m

ストレスフリーで駆け抜ける！
 目指せ日本のてっぺん！

天塩川と宗谷本線に沿って東北へ
 サイクリングロードで利尻山を一周

日本のてっぺん 宗谷峠

ルートの特色

北海道遺産の天塩川に併走し自然を肌を感じながら信号がほとんどなく、どこまでも続くかのようなまっすぐな道を堪能できる日本最北のルート。

4 **トカプチ400**
 ルート全長：403km / 獲得標高：3,369m

山、平野、海へ。
 雄大な十勝を感じるサイクリングルート

農村風景とサイクリングルート
 三田峠に佇む松見大橋
 美しい海岸線

ルートの特色

北海道で一番標高の高い峠までの山岳、広大な平野、雄大な河川、海岸沿いのパノラマなど多様な「十勝」を楽しめる延長約400kmの「8の字」ルート。

7 **石狩北部・増毛サイクリングルート**
 ルート全長：288km / 獲得標高：2,611m

自転車で巡ろう！遊ぼう！石狩北部と増毛！

望来ピコウ
 道の木の森
 望郷橋

ルートの特色

石狩市、当別町、増毛町、新篠津村4市町村を自転車で巡り、雄大な日本海や内陸に広がる田園風景などの自然、歴史的な町並みなどを堪能できるルート。

2 **石狩川流域圏ルート**
 ルート全長：333km / 獲得標高：2,295m

大河と大地を体感！

爽やかな河川敷のサイクリングコース
 雄大な石狩川
 大堰ダムここから物語は始まります

ルートの特色

石狩川本流をベースに、層雲峡から石狩川河口の河川敷で走行可能な箇所を積極的に活用したルートであり、北海道の空の玄関口である新千歳空港及び旭川空港からのアクセス性に優れたルート。

5 **富良野美瑛サイクリングルート**
 ルート全長：277km / 獲得標高：2,777m

アジアNo.1のサイクリングの聖地

起伏のある田園風景
 美しいラベンダー畑
 花畑でスイーツ

ルートの特色

湖畔の美しい風景や美瑛の丘を巡るパノラマロード、丘陵や田園・十勝岳連峰が見渡せるジェットコースターの路など多様な風景、道を堪能できるルート。

8 **羊蹄ニセコエリアサイクリングルート**
 ルート全長：251km / 獲得標高：2,563m

ビギナーからコンペディターまで楽しめる懐の深さ！

羊蹄山（剣夷富士）
 尻別川
 日本海

ルートの特色

ビギナーからコンペディターまで楽しめる、田園風景や日本海、「蝦夷富士」羊蹄山を中心とした、豊かな食と景観を楽しむことのできるルート。

3 **阿寒・摩周・釧路湿原ルート**
 ルート全長：308km / 獲得標高：2,971m

雄大なふたつの国立公園を感じるサイクリングロード

日本一のカルデラ湖 屈斜路湖
 雄大な釧路湿原
 硫黄山の見えるルート

ルートの特色

原始の森、湿原のパノラマ、険しい山岳コース、牧草地、変化に富んだロケーション、野生動物たちとの出会い。阿寒摩周、釧路湿原の2つの国立公園を通るルート。

6 **オホーツクサイクリングルート**
 ルート全長：321km / 獲得標高：2,464m

雄大な風景といにしへの民族に思いをはせるルート

網走湾
 白根本木
 メルヘンの丘

ルートの特色

美幌峠や石北峠、網走湖、能取湖、オホーツク海などの雄大な自然、季節により移り変わる美しい景観・旬の味覚を楽しめるルート。

9 **オロロンライン・サイクリングルート**
 ルート全長：140km / 獲得標高：926m

北海道の左上。日本海絶景ロード・オロロンライン

日本海オロロンライン
 歴史的建造物群
 利尻富士を眺めながら最北端に続く道

ルートの特色

古き佳き時代の歴史的建造物群、夫婦島、利尻富士を眺めながら最北端に続く道。かつての栄華を物語る鯨骨屋、凧として並ぶ風車群、夕日と海が美しい道、満天の星がみられるキャンプ場。北を目指す誰もが憧れる道。